

平成28年3月3日

総合教育会議資料

オリンピック・パラリンピック教育推進校について

1 趣旨

2020年東京大会開催を踏まえ、幼児・児童・生徒が、スポーツにより心身の調和的な発達を遂げ、オリンピック・パラリンピックの歴史・意義や国際親善など、その果たす役割を正しく理解し、わが国と世界の国々の歴史・文化・習慣などを学び交流することを通して国際理解を深め、進んで平和な社会の実現に貢献することができる児童・生徒を育成することを目的に東京都が推進校を指定するもの。

2 推進校の指定

(1) 平成27年度

東京都全体で600校

府中市の推進校 16校（小学校11校・中学校5校）

小学校・・・府中第一小学校、府中第二小学校、府中第五小学校

府中第六小学校、府中第九小学校、武蔵台小学校

新町小学校、本宿小学校、白糸台小学校、矢崎小学校

四谷小学校

中学校・・・府中第二中学校、府中第三中学校、府中第四中学校

府中第六中学校、府中第九中学校

(2) 平成28年度

東京都内の全ての小学校・中学校（予定）

3 推進校の取組内容

- (1) 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動におけるオリンピック・パラリンピック学習の実践
- (2) 諸外国の歴史・文化や外国語学習による国際理解教育
- (3) 運動会・体育祭・文化発表会・文化祭・音楽発表会・合唱祭などにおける取組
- (4) 運動・スポーツへの興味・関心を高め、基礎体力を向上する体育授業等の内容・方法の改善
- (5) 日常的な運動・スポーツの実践による健康増進に向けた取組の充実や部活動の推進

- (6) コーディネーショントレーニングの導入による、脳・神経・筋肉等の調和的発達
  - (7) オリンピアン・パラリンピアン、アスリートやスポーツ指導者と幼児・児童・生徒との直接的な交流
  - (8) 日本の伝統的な礼儀・作法やおもてなしの心などの学習
  - (9) 国際的なマナー・エチケット、礼儀・作法や習慣などの学習
  - (10) 地域のスポーツ大会やスポーツイベントなどにおけるボランティア活動
  - (11) 大使館等駐日外国公館・駐日国際機関、インターナショナルスクール等の国際的機関などとの交流
  - (12) その他、学習を進める上で、特に学校が有効と認める取組
- ※上記項目のうち、各校が複数項目を任意に選択し、創意工夫した取組を展開する。

#### 4 平成27年度における市立学校の主な取組

- ・市内トップチームによるラグビー教室
- ・車いすバスケット選手による講演会
- ・体操指導、講話
- ・プロフットサル選手による講演会
- ・東京外国語大学留学生との交流会
- ・韓国の民族楽器の紹介及び演奏会
- ・オリンピアンによる講演及び実技披露
- ・箱根駅伝出場校監督の講演会
- ・プロ野球選手による講演会
- ・国際報道カメラマンによる講演会
- ・ダブルダッチ協会による実技指導、講演会
- ・ブラインドサッカー監督及び選手による実技披露、講演会
- ・その他、体力向上のための様々な取組 など

#### 5 東京都における平成28年度の方角性 別紙のとおり